

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2010. 2. 1
No.1940
No.23



出席率	会員54名中43名
先々週の出席率	89.80%
ウィジター	三条RCより 斎藤弘文君 米山奨学生 タキ・コフィ・アルフォンソ君
先週の メイクアップ	1/26 三条北RCへ 星野健司君 飯山勝義君 嘉瀬 修君 西巻克郎君 1/28 三条東RCへ 馬場一敏君 熊倉高志君

ロータリーの未来は あなたの手の中に

2009-2010 ロータリーのテーマ



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長
佐藤 嘉男

こんにちは。挨拶をさせていただきます。
鉄鋼から見た今年の経済について話をさせていただきます。
昨年は、1-3月の全国粗鋼生産量は1,760万トン、年率にすれば7,000万トン。それまでの1億2,000万トンレベルからの減産はまさにフリーフォール状態でした。結局、上期は4,330万トンにとどまり、1969年以来40年ぶりの歴史的低水準となりました。下期に入って徐々に持ち直したものの、09年暦年は、8,770万トン、71年以来38年ぶりの低水準でした。
世界鉄鋼協会は、本年の世界の鉄鋼見掛け消費が09年見込み比で、約9%増の12億トン強に回復すると予測しています。世界同時不況で後半に失速した08年レベルに戻るものの、順調だった07年レベルにはまだ届かないという見方です。特に、欧州や北米、日本は08年レベルにも戻らないと予測しています。

2010年はアジアの時代と言われています。人口13億の中国、12億のインド、2.3億のインドネシアと人口大国3国を抱え、IMFの予測でも今年10年は年7%の成長が見込まれています。鉄鋼生産も日本・中国・韓国・台湾の極東アジア4カ国で7億5,000万トンと世界の6割強を占め、需要側でも日本を除くアジア地域で6.5億トンに達します。中国やインドなど比較的回復が速い東南アジア諸国を含むアジアが引き続き世界需要のけん引者となることは間違いないでしょう。

日本の国内鋼材消費は、2年前の8,000万トンから毎年1,000万トンずつ減り、今や6,000万トンレベルまで落ち込んでいます。6,000万トンでも中国・米国に次、インドと並ぶ3位ですが、今の政権が続く限りは、公共事業の増加は期待しにくく、10年度の需要動向では、

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 ジョン・ケニー [スコットランド]
第2560地区ガバナー 植木 康之 [柏崎]
第4分区AG 米山 忠俊 [三条北]
会 長 佐藤 嘉男
幹 事 荒澤 威彦
S A A 熊倉 高志

事務局 〒955-8666 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫 本店内
TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL http://www.sanjo-minami.jp

公共土木の受注金額が前年度 17%程度の減少、民間土木も前年同様に低水準を予想、住宅着工戸数ベースで、78 万戸程度と 2 年連続の 80 万戸割れとなる見通しです。造船・自動車・産業機械も前年度を下回る見通しで、製造業は、需要地・最適生産地を目指して海外シフトが多くなっています。

その一方で、鉄鋼の海外原料原価が上昇し始めています。年明けから中国メーカーのスポット買いで、20 ドルアップの 132 ドルになり、韓国や中国の買いで、日本の鉄スクラップも昨年 1 月の 9,000 円から 7 月に 2.5 万円まで行き、今回 3 万円を越えました。

また、世界的なドル安で、ドル建て資産の目減りを嫌がった投資家の資金が、金属の商品相場に流れ込み、金は最高値を連日更新し、26 年ぶりに 1,218.3 ドルまで上昇、1 月 29 日は 1 オンス 1,084.5 ドルを付けています。

その他、銅は昨年 1 月 2,852 ドルだった物が、1 月 29 日は 7,183 ドルに、同様にニッケルは、9,865 ドルが 1 月 29 日は 17,945 ドルになり、今年の金属は、川上インフレ、川下デフレという超ねじれ状態となり、経営者がものすごく知恵を出さないと難しい年になりそうです。

ようこそ 三条南ロータリークラブへ



米山奨学生 タキ・コフィ・アルフォンソ君

こんにちは。奨学金をありがとうございました。
もうすぐ卒業です。今は、毎日徹夜で修士論文に取り組んでいます。
今月中には仕上げなければなりません。
卒業後はお隣の富山県に移り、医薬・化粧品の会社に勤めます。
この米山奨学生になれたお蔭で今まで経験できなかったいろいろな人との関係を持つことが出来ました。これからもその関係を大切に、ずっと続けられたと願います。
皆さんにお礼を申し上げ、そして、これからもよろしくお願ひします。

幹事報告

荒澤 威彦 幹事

植木ガバナー事務所より「第 2 回ロータリー財団セミナー」開催のご案内

- 日時 2010 年 3 月 27 日 (土) 11:45~16:30
- 会場 柏崎商工会議所 5F 大研修室
- 出席義務者 2010~11 年度ロータリー財団委員長

委員会報告

社会奉仕委員会

星野 健司 委員長

祝日の国旗掲揚についてのアンケート結果と国旗購入について

国旗掲揚についてのアンケートにご回答ありがとうございました。(回答率 77.8%)

このアンケート結果より、クラブで国旗を用意した場合購入を希望したいとの回答が多くございましたので、用意を致したく、再度ご希望をお伺い致します。

ご希望の方は事務局までお申込み下さい。

家庭用日の丸セット

(プラスチック棒型 3 本繋ぎ・竿玉金具つき)

サイズ | プラスティック棒 140cm
金の玉 直径 7cm 旗 70cm×100cm
素材 | 綿
価格 | 1 組 特別価格 3,000 円位
(定価 3,570 円)

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 2月1日 18,000円
今年度累計 430,000円～

佐藤(嘉)君 先週、ローターアクト主催の「長久の家餅つき大会」に参加して来ました。初めて米のしんの残った餅を食べました。つきが悪かったのでしょうか？

荒澤君 武藤先生、俳句選定ご苦労様でした。

吉田君 1月6日、燕労災病院眼科へ入院。緑内障の手術を受け、月末退院して来ました。まだ視力が戻っておりませんが、手術は成功とのこと。

佐藤(栄)君 お一日(ついたち)様です。祈りをこめて！！

船久保君 今年もよろしくお願ひ致します。

吉井君 タキ君の第一例会出席で、久しぶりに元気な国歌が聞けます。来月3月が最終例会となります。皆様にも大変お世話になりました。

鈴木(囿)君 タキ君と同席。就職おめでとうございます。これからも大変ですが、頑張ってください。

大溪君、草野君、坂本君、田代君、田中君、銅冶君、野島君、野中君、渡邊(光)君
BOXに協力致します。

Club Forum

ROTARY CLUB フォーラム

2009～2010 年度半期決算報告

野島 廣一郎 会計

2010～2011 年度理事・役員・委員会組織について

大溪 秀夫 会長エレクト

ロータリーの友 2月号紹介



ロータリーの友 2月号についてご紹介いたします。

- 1 今年度の「友」はロータリアンが表紙を飾っています。その一枚が、2600地区上田東RCのメンバーが撮影された、かつてのジブシーの洞窟の中でのフラメンコショー。迫りに圧倒されながら追い続けた何十枚もの写真の中のこれだ！の一枚
もう一枚は2830地区八戸RCメンバーが撮影された「八戸えんぶり」、800年前から今に続く伝統の民族芸能、旧正月に催されてきた豊作祈願の祭事。小さな烏帽子を被った子供達が伝統の演目を無事すませ大人達の演舞を見つめる姿。うれしさの中に緊張感が伝わってきます…と。
- 2 縦組みP2～6 馬場ガバナー地区大会にRI会長代理としてお越しいただいた第3720地区1992～92年度ガバナー姜順鉉(カンスンヘン)氏が2009年10月25日第2530地区地区大会で講演された「近代史に見る韓日関係と奉仕の理想」の要旨が掲載されています。
ひもじい人にパンをあげるのも、盲人たちに杖を贈るのも、みんな奉仕です。しかし、われわれロータリアンが推進する奉仕の理想は、そこに善意と思いやりの心が宿っていなければなりません。
- 3 2月は「世界理解月間」です。その特集として「世界理解と平和に貢献するロータリー世界平和フェロー」として奨学生の紹介が掲載されています。
 - 「ロータリー平和フェローの経験を生かして」
寺西悦子さん(スポンサークラブ：2660地区茨城東RC)
 - 「ルワンダーでインター」
永谷裕香さん(スポンサークラブ：2750地区東京城西RC)

詳細はどうぞ本紙をお読み下さい。

クラブ会報委員会

「白鳥」

白鳥の 騒めく鳴き声 湖に迫る

武

「初日の出」

初日の出 何も変わらぬ 朝(あした) かな

豊樹

「寒さ」

朝市に 商ふ足の 寒さかな

罔彦

「白菜」

白菜に 心を込めし 料理かな
原作 白菜に 心を込めて 料理かな

豊樹

「蝸」

遠くにて そのひぐらしの 声を待つ

高志

選者吟

ところ得て 白鳥散れり 枯れ平(だいら)
雨風に 真向かふ白鳥 遠眺め
進みゆく ラデツキ行進曲(マーチ) 初日の出

※優秀作品の「天」のみを掲載させていただきました。
全ての作品につきましてはHP「武藤塾」をご覧ください。

ROTARY NEWS

「友」インターネット速報 No. 414 2010年 2月 218日

ロータリアンが見たハイチ大地震後の混乱

ヒューストンロータリークラブの会長であるミシェル・ポーリアさんの夢は、いつの日かハイチを訪問し、現地の子供たちの生活改善のためのプロジェクトを行うことでした。1月12日、そのプロジェクトを行うためにポーリアさんと5人の会員から成るチームがハイチに到着してから45分後、夢は一瞬にして悪夢に変わりました。

大地震発生時、チームは児童養護施設での水プロジェクトを実施するためにハイチの首都に向かっていました。「地震発生の数分後、何千人もの人々が道路にあふれかえり、走ったり、叫んだりしていました。大勢の人々が血まみれで歩いていました」とポーリアさん。首都は壊滅状態に陥り、最大で約20万人の命が失われたとみられ、数百万人が負傷。被災者に食糧、水、薬を届けるために、国際的救援活動が動き出しました。

「その光景、音、匂いは想像を絶するものがありました。決して忘れることはできません」と話すのは、ウィッキー・ブレンティン会員です。一行は4日間ポルトープランスにとどまり、できる限り人々の助けになろうと努力しました。崩壊した病院を見つけた彼らは、がれきの中から鎮痛剤や抗生剤を集め、けが人たちに配りました。同15日、チームはチャーター機でドミニカ共和国に避難し、翌日、ヒューストンに戻りましたが、ポーリアさんは「いつかハイチに戻って、復興を手伝いたい」と語っています。この地震については、多くのロータリアンが被害者に支援の手を差し伸べています。

表紙について

小野 竹喬 (おの ちっちょう)
岡山県笹岡出身(1889-1979)

■「冬日帖(とうじつちょう)」より

1929年(昭和3年)作
京都市美術館蔵

ロータリーの友 1991年2月号表紙より

三條南ロータリークラブ週報

2010. 2. 1

No.1940 No.23